

<「2020 京都自治研」優秀賞受賞レポート>

公共施設の活用法

— きょうとこどもの城づくり事業

自治労京都市職員労働組合清掃支部

中川 純



Public Facility Usage
City of Kyoto Children's Castle Building Project
(Single-parent family children's living space building project)

2020年7月31日

自治労京都市職員労働組合
清掃支部
中川 純

The image shows the cover of a booklet. The title is in large red and black characters. Below the title is a circular illustration of diverse children's faces. The date and author information are in blue text. There are three grey arrow symbols in the top right corner. The left side of the cover has a vertical orange bar.

はじめに

- » 日本の子どもの相対的貧困率は2012年の過去最悪の16.3%から2015年には13.9%と12年ぶりに改善したものの、依然として子どもの7人に1人が平均的な所得の半分を下回る額の世帯で暮らしています。
- » 国においては、子どもの将来がその生まれ育った環境において左右されることのないよう、貧困の状況にある子どもが健やかに成長する環境を整備するとともに、教育の機会均等を図るため、子どもの貧困対策を総合的に推進することを目的に、「子どもの貧困対策の推進に関する法律」が2014年1月に施行されました。
- » 京都府においては、2014年度に「京都府子どもの貧困対策推進計画～すべての子どもが将来の夢を実現できる社会を目指す～」が策定されました。
- » しかし、生活保護世帯やひとり親家庭は、10年で1.3～1.4倍に増加しており、母子家庭の半数以上で就労収入は200万円未満で、子どもの5人に1人が子どもだけで食事をしている状況。



実施するまでの流れ

- | | |
|--------|--|
| 3月10日 | 京都府へ申請 |
| 3月20日 | 大学学生ボランティアJVOの方へ事業説明会 |
| 4月20日頃 | 関係機関と打合せ(呼びかけ機関:市立朱雀第四小学校教頭, 壬生児童館館長, 中京福祉事務所支援保護課課長, 中京社会福祉協議会事務局長, NPO法人理事長, NPO法人スタッフ) |
| 4月下旬 | ・朱四小学校, 壬生児童館, 御前児童館の各家庭宛に文章を配布, また近隣の学校・児童館・学区各町内の掲示板等にポスターを掲示, また先生からの呼びかけなど
問い合わせに応じたり, 参加者を受けたら台帳の記入や面談を行い, この事業の説明をおこなう
・事務局で打合せ
・学生ボランティア, 調理・作業スタッフ, 事務局で打合せ
・事務局で最終打合せ |
| 5月11日 | 「あかしや輪い和い雀クラブ」第1回目開始 |



実施要項

日時	令和2年5月11日～令和3年3月31日の月・木曜日
時間	午後5時00分～午後7時45分
場所	中京いきいき市民活動センター 会議室・料理室
定員	子供15名 (先着順)
参加費	1人1日¥300

☆実施内容

午後5時00分	学校・児童館にお迎え
午後5時15分	オリエンテーション ※館内及び周辺清掃もあり
午後5時25分	勉強会
午後6時10分	銭湯入浴 (希望者のみ)
午後6時40分	準備 (当番制で行う) 食育タイム
午後7時10分	遊びや工作の時間、又は、イベント事業など
午後7時45分	終了 (親の迎えにより帰宅又は、送りによる帰宅)

※館内及び周辺清掃は週に1度行います。料理実習を月に2回 (第1・3水曜日)、行います。イベント事業又は工作は月1回程度実施します。

事業内容

◇相談事業

保護者からの相談は随時受け、2か月に1度こちらから、懇談形式で活動や家庭での日頃の様子などの意見交換を行っている。

◇学習支援事業

毎回、学校の宿題やこちらで用意するドリルで45分学習する。大学生ボランティアの方に学習の補佐をしてもらう。

◇交流事業

- ・あかしゃふれあい盆踊り大会に参加。
- ・ふれあい餅つきのつどいに参加。
- ・月に2回、調理実習を行う。
- ・目的を持った社会見学や郊外学習を5回程実施。
- ・みんなで創り上げるレクレーション (お楽しみ会など) を考え行う。

◇親の交流事業

事業の中で参観できる時に見学に来てもらい子供や保護者同士で交流。交流事業にも参加してもらう。

◇生活支援事業

5時から集まり、出欠確認、施設周辺の清掃、入浴。食育の時間、勉強会、反省会や終わりの会などを実施。



意見交換や打合せで得たこと

- » ・家庭の環境が見えるデリケートな部分もあるので接する上で、言葉や態度、内容を丁寧に考えて向き合っているように心得る必要がある。
- » ・できる限り一般家庭での生活に近い環境作りを目指し、不足しがちな会話を増やし、心の満足もできる環境づくりを目指す。
- » ・預かる上で子供の体調や会話に気を配る。
- » ・子供は直ぐに慣れるが、父兄も気楽に立ち寄ったり、相談できる雰囲気をつくる。

注意すべき上でどのようにしていくか！

- » ・**秘**個人情報に関わる内容を記入してもらい個々の性格や事情、環境を把握した上で接するよう心掛け、情報は厳重に管理する。（プライバシーポリシーの徹底）
- » ・保護者と密に連絡が取れるよう、連絡ノートやお知らせのプリントを利用する。

- » ・食育面でアレルギー症状や体質については
- » 保護者面談で必ず確認する。
- » ・毎回、スケジュールを作成し規則正しい環境をつくる。
- » ・子供たちに名札を着用させ出欠表などつくる。
- » ・始めの会や終わりの会を行い、1日の始まりと終わりをしっかり区別することで次回へ繋げる意味のある1日にしてもらう。
- » ・日報を作成し、全従事者は1日の内容を把握し、改善できるところは改められるようにする。
- » ・従事者も名札を着用し、子供たちがホットするような居場所づくりを目指す。
- » ・毎月、クラブニュースを作成し、日頃の様子を保護者にわかりやすく報告する。
- » ・宿題がない時のために、ドリルをコピーして使う。また折り紙やぬり絵、絵が描ける道具なども置いておく。



活動の様子



活動の様子



工作づくりやスライム
づくり楽しかった。



クリスマスに
手作りパーティーをしたよ。



毎月発行するクラブニュース

あかしや絵い箱のクラブニュース

あかしや絵い箱のクラブニュース

あかしや絵い箱のクラブニュースは、毎月発行するクラブニュースです。内容は、あかしや絵い箱の活動の様子や、子どもたちの思い、保護者の声などです。また、クリスマス会や、お誕生日会などのイベントの様子も掲載されています。

あかしや絵い箱のクラブニュースは、毎月発行するクラブニュースです。内容は、あかしや絵い箱の活動の様子や、子どもたちの思い、保護者の声などです。また、クリスマス会や、お誕生日会などのイベントの様子も掲載されています。

～実施を終えて～

◇保護者の声

- ・この機会を頂いて、家で規則正しい生活をしていなかったのが改善され、たいへん感謝している。毎月、ニュースで活動の様子をわかりやすく見せて頂いて、とても安心している。
- ・入ったころに比べると、皆に刺激されてか、はっきりと話すようになり強くなった気がする。
- ・慣れない環境で心配したが、勉強だけでなく清掃や工作、絵画など子供はたいへん満足しているし、自信を持っているようで毎回、自主的に行動するようになった。
- ・子供の様子に変化しているのがよくわかり、保護者の要望や考えも聞いてもらえるので安心。

◇実施による成果と課題

参加した小学生は、最初慣れない環境でルールを守り、縛りのあるタイムスケジュールで動くことから、戸惑いがありできなかった。文句を言ったり、少しのケンカをしてみたり、返事もできなかった。それぞれの意思や考えもわかりにくかったが少しずつみんなで行動し、お互いを刺激し合うことで、自然にルールを守り、やるべきことができ自分の思いを表現できる子達に成長したと思う。今では、1つの家族のように、助けてあげられたり、注意してあげられたり、一緒に楽しんだり、チャレンジしたり、1つの居場所となり共存しています。まだまだ課題はありますが、もう少し協力し合えることや保護者との交流も考えています。